



# TAKIKAWA ROTARY CLUB

本日は 第2641回 例会

プログラム

ガバナー公式訪問

No. 2496 11月26日(木)

次週以降の予定

12月3日(木) 年次総会

12月10日(木) 忘年会(夜間)

12月17日(木) 半期を省みて

## 第2640回 例会報告

2009年 11月19日(木)

### 会長挨拶・報告



いよいよ冬到来の季節が参りました。インフルエンザも相変わらず猛威を振っているようです。先月まで、新型インフルエンザは子供たちがかかっているという印象でしたが、最近はその子供から親にかかりおじいちゃんおばあちゃんがかかっているみたいです。

どうぞお身体に留意していただき楽しい冬を過ごしていただきたいと思ひます。

後ほど卓話をいただく札幌西ロータリークラブの阪崎さん、昨年地区大会のSAAをされておりました。色々な場面でお話の旨い方などとして何より声が素晴らしいと感じておりました。先ほど名刺交換をさせていただいた時に、FM札幌村ラジオのパーソナリティーということで、何となくそうだったと分かるような気が致します。後ほどしっかりした卓話を頂きます。どうぞ宜しくお願い致します。

同じく、今日はそらぶちキッズキャンプから佐々木さんが来ておられます。先週の金曜日ですが、11月20日に北海道新聞の空知版にカラーで11月12日に寄贈式を行なったそらぶちキッズキャンプのログハウスの写真と贈呈式の様子がしっかりと載っております。昨年の木の回廊に加えてログハウスとそして又、来年の春にもまた事業を計画していますので、そらぶちキッズキャンプさんには、ロータリークラブ生懸命お手伝いをしていっているという風に現在の所なっていますので、佐々木さんも益々私たちの例会にお出でいただきたく思ひます。それから最近砂川・深川・羽幌等から私たちに会報を届けているクラブから地区大会の話が、会報を読んでいると出てきます。総じて良い地区大会だったとどの会報にも書かれておりました。本日は地区大会のDVDが完成して私のところに届きました。今日、拝見させていただき後ほど皆様に多分回覧になるかと思ひますが回しますので楽しみのご覧いただければと思ひます。

最後になりますけれども、来週は公式訪問例会でございます。渡 ガバナーが最後の公式訪問ということでございます。多分ホームクラブが、ホームクラブ訪問というのが、滝川にとりまして、これから当分先も無いのではと思ひますので、ご出席の程宜しくお願い致します。

### 幹事報告



1. 砂川IRCより会報・12月のプログラムが届いております。

2. 地区より、ロータリーカード入会の依頼がありました。入会申し込みを希望される方は、事務局へお申し出下さい。

3. 2009~2010年度 地区役員名簿の写真的訂正がありました。関係者の方に事務局よりお渡しいたしますので、貼り替えをお願い致します。

《そらぶちキッズキャンプから説明》



佐々木事務局長

そらぶちキッズキャンプの佐々木でございます。今日はスピーチではなく違うレベルの話をしに来ました。お手元に資料を見ていただきたいと思ひます。これまでも滝川ロータリークラブさんに様々な支援を頂いて今は渡 ガバナーの元に地区にも凄くご支援をいただきながら私も先日は、留萌ロータリークラブさんに卓話に行って参りました。様々な支援感謝申し上げます。今、そらぶちボックスチャリティー販売をやっていまして。地元江部乙の農産物をそらぶちボックスのこのようなボックスに詰めましてこれを皆さんにチャリティー購入を頂いております。その益金をそらぶちの運営に収益事業の一つとして大事になってまいりますので、その様な仕組みをやっております。只、そらぶちキッズキャンプにメリットがあるだけでなく江部乙・滝川の農産物を全国にPR出来るというメリットもあるかなと思っておりますので、是非ちょっと早いお歳暮でもありますが、皆様本州の方にどんどん送って頂けると滝川の宣伝になるかなと思っております。どうぞ宜しくお願い致します。

### 先週のプログラム

《ロータリー情報委員会担当例会》

講師卓話



副委員長 松原 章

本日、担当しています情報委員会でございます。講師の紹介をさせていただきます。先ほど会長の方からもご紹介がありましたけど現在地区社会奉仕委員長の阪崎健治朗さんでございます。生年月日は1935年、現在はコミュニケーション21研究所の主宰をやっております。学歴については、日本大学文理学部英文学卒業でございます。その後、大阪で中学校の先生を行ないながら道内の北星女子短期大学、また北星学園大学、各大学で教鞭を行なわれております。色々な関係団体で、札幌家庭裁判所家事調停委員など数多くの協会の役員をされております。また活動歴でございますけど私の妻が入っております。国際ソロプチミストアメリカ北リジョン主催のユース・フォーラム今年の8月に行なわれましたが私の妻も参加してございまして福島県でそこでコーディネーターもされておりました。札幌市の東区のFMさつぽろ村ラジオパーソナリティーで毎週1回「人の」を創るために」出演されております。ロータリー歴につきましては、1987年に札幌西クラブに入会されておられます。現在先ほど話したとおり地区社会奉仕委員長として活躍しております。尚、本年度渡 ガバナーの重点でありますキッズキャンプの件で、地区社会奉仕委員会には、お世話になっておりますことご報告申し上げます。また、先ほど佐々木事務局長が宣伝してございました、チャリティー販売ですが私も2個ほど買っておりますので、皆様もご協力の程宜しくお願い申し上げます。講師の紹介とさせていただきます。

《人に仕えることで人生は上り坂》



阪崎 健治朗 (さかざき けんじろう)

来週は、渡 ガバナーがホームグラウンドの公式訪問だそうですが、私はその前の週ということで今日は梅雨払いをさせていただくというあまりにも丈が違いますけどお許しを頂いてしばらくの時間を頂戴したいと思います。岩見沢を出てまいりますと真っ白になりました。この滝川に私は参りますたびに江部乙が生んだ日本画の大巨匠と呼ばれます、

岩橋英遠の事だとか一木万寿美のようなそうそうとした芸術家が生まれていることを思うとき滝川には一つの文化が育っているんだなとしみじみ思います。近代美術館の美術解説をしておりましてので長さ29メートルの岩橋英遠の作品道産子つうよくの絵巻を解説したときに岩橋先生の生い立ちからずっと滝川を愛していたその事が作品に表れている。その作品を解説するたびに感動いたします。滝川には、不思議なご縁もありしばしばお尋ねする機会がありまして嘗ては、いろんな所でプログラムでお交じりを頂いて私も若輩ながら諸先輩にご指導を頂いたことを今でも忘れることが出来ません。今日、こうしてご壮健な方とご一緒に久し振りにご挨拶を申し上げるのは、本当に良い出会いが、しみじみと思いロータリーの友情の深さというものを感じております。今日は、私が人に仕えることで人生は上り坂というやや気障っぽいタイトルを付けました。この話は、後でさせて頂きます。まず何よりも渡 ガバナー年度の地区大会を無事終えられましてそこに参加した一人のロータリアンとして私もとても感謝に絶えない想いでございます。この成功の裏には、きっとガバナーを始めとして神部地区代表幹事のパートナーシップさらに又この大会を運営された篠島大会実行委員長を始めとして多くのスタッフの皆様またそらぶちキッズキャンプに関しまして大きなエネルギー源として活動して下さいましておられることを拝見いたしまして、私はこの滝川のクラブに潜在的な能力が沢山あることを痛感いたしました。

実は、このタイトルですが人生は上り坂を付けました。このタイトルは何年も前の話ですが、ガン患っている多くの人をターミナルケアとして治療並びに見守る病院の看護部長さんに私がお講演をお願いしたいとお尋ねいたしました。その時に色々な病院の生活介護にあたる方医療関係者それにまたクライアントとして病院生活を送っている方との関係がどうなっていくんだろう。生又は死をどんな風に考えているのだからと色々打ち合わせをした結果、私はそれまで人間というのは一定の年齢を超えると段々下り坂になっていくと考えておりました。皆さんその様に考えたことございませんか。ところがその話をしているときに、違うんだと人生とは上り詰めて行くんだ。そして上り詰めて頂上が何処にあるかは、神様に導かれて行くんだろと思いましたが、そこまでは私たち人間が上り詰めていく一歩一歩峠の上に向かっていくそのところが人生かなと思って人生は上り坂というテーマはどうでしょうねと想いついたように言いましたら、その講演者の人はとても良いテーマですねおっしゃってその場で決まりました。ところがその時に看護部長さんが話を頂いたときに、いつ自分の命が果てるかもしれないと思っている人に朝起きたときに病室に入るとその患者さんに今日はとても窓の外の桜が 麗に咲いていますよとカーテン開けましょうかと声を掛けて承諾を貰って開ける。真っ暗な部屋の中から日差しが差し込んでそして少し身体を起こしてあげるとわずかに桜の花が見えて満足をする。ある時には、じっと手を握って上げて血の通いを感じさせる。その様な話をして結局人生は、パートナーなんだと所謂この方の伴奏者として仕事をしているんだなと感じますと言いました。その話は今でも感動して思い出しますけど、どういうわけかその後、私が講演したにも関わらず人生は上り坂というタイトルが一人歩きしてまいりまして保険所の市民セミナーとかあるいは老人ホームのスタッフの訓練とかあるいは医療関係者だとか大学とか色んなところで講演を受けていた時期がありました。その時にテーマは何にしようと言ったら、人生は上り坂にして下さいと言われます。タイトルは指定なんです私はそれが一人歩きをしていることにちょっと恐ろしく感じているんですが、私はそれほど毎日人生について考えている訳ではございません。そんなこと考えていたらいつか自殺でもしないといけなほど考え込みますからその様なこといつも考えていません。やっぱり自分はどういう風な生き方を今までしてきたのか人の話を聞きながら自らを問いかけることを学びました。したがって私は人の話を伺って自分が強められ良く体の中に浸み込ませて行こうと考えております。先日私の友人が本を送ってまいりました。その本は苦小牧駒沢大学が出版した「北海道発 知恵の力仕事」という本を手渡されました。私がずっと前から駒沢大学から依頼されこの数年間エッセイを出してました。私だけではなく多くの方が出していますがこれを幾つか集大成して出来上がった本です。この中に実は今日お話をしようとする五穀豊穡が書かれています。それで五穀豊穡を言葉で言いますと豊かで実り多いということを感じますが、五刻とは五つの時刻の刻と書きます。って五刻豊穡その様なタイトルを私頂きましてそのプロデュースした彼は、少年の刻・青年の刻・中年の刻・老年の刻・大年の

刻と言ひ、私それぞれの人生観を書いて欲しいと言われました。それを書き上げまして、私は小学校の時に僅かですが戦争体験をしてあります。空襲の嵐の中にいたということですが、苦しい親の姿を見て近所の姿を見て亡くなっていく人を見て私は人の命のこの果かなさと尊さをいうものをそこで子供心に知るわけですが、さらに又敗戦の後の貧困な時代を私は少年時代過ごしました。考えてみると少年の刻そして青年の刻になりますと私は大病を致しまして結局思うような大学に行けなくて闘病生活を数年間送り最悪の事態でした。したがって考えてみると私の大事な青年がそこで失われたと想った訳です。少年の刻と青年の刻は、私にとって残酷な刻だと想っておりますが、しかし今、老年の刻という時期に入って過去ずっと振り返って見ますとそれはけしてマイナスではなかったと感じます。それは今日生きているということは、そういう時にこそ人々の助けと力を頂いたお陰だと考えますとそこから人とは何かと考えるよう良い勉強を与えられました。私は二十歳の時に教会の門を叩いて洗礼を受けました。年数だけは長いのですが、中身について神様は許してくれないと思いますけど、普通の人と同じような生き方をしているわけです。老年の刻に経てみて初めて色々な事が、分かる様になってきました。

今渡 ガバナーが一番に取り上げています「そらぶちキッズキャンプ」への取り組みには、単に資金援助だけと理解していない。丸加高原は滝川の誇りでもあり、日本のそしてアジアの誇りでもある。北海道にも沢山の小児ガンや難病と闘っている子供たちがいます。その子供たちのために家族、治療する医療関係者や篤志家の献身的な社会貢献の輪を広げる必要があるのではないかと。ロータリーはこの支援を公的には単年度活動とされている。しかしこの子供たちに少しでもごく当たり前の時間を一瞬でも与えようと思えば、誰はばかすることなく特別な魔法の時間を過ごす権利をずっと与え続ける責任が私たちにあるのではないのでしょうか。滝川クラブの皆様や滝川市民の皆様の一層のご助力に期待申し上げます。

私は、とても好きな言葉がございます。サミュエル・ウルマンの青春から「青春とは心の若さである。信念と希望にあふれ、勇気に満ちて日に新たな活動を続ける限り青春は永遠にその人のものである。」と書いています。肉体は、徐々にむしばまれるけれども心はむしばまれることのない私たちはいつまでも青春であり続けたいその願いを持つことによってこの人生は常に一歩一歩上りつめて行く覚悟を決めて歩いていくそれがとても大事だと思ひます。

## ニコニコBOX

吉田 正治会員  
結婚記念にお祝いをいただいて。  
中垣 陽一会員  
34回目の結婚記念日(1111いい夫婦の日)がやってきました。  
お祝い有り難うございます。  
小山 進会員  
結婚記念品をいただいて。麻雀大会準優勝して、タラバガ二を頂き正月準備OK!  
明円 直志会員  
麻雀大会、西田君の優勝を信じてました。  
西田 浩二会員  
麻雀大会で優勝しました。明円さん、大穴馬券おめでとう  
ございます。  
白田 富久会員  
麻雀大会で馬券を当てて。  
松原 章会員  
担当例会を終えて。

会長/川口 義弘  
幹事/竹田 行宏  
編集/クラス会報委員会

電子メール info@rotary.gr.jp  
ホームページ http://www.rotary.gr.jp/

例会日●毎週木曜日 PM 0:30  
例会場●ホテルスエヒロ  
事務局●ホテルスエヒロ 7F

〒073-0032 滝川市明神町 2 丁目 2-16  
TEL (0125) 22-3344  
FAX (0125) 24-2755



クラブ会報は再生紙を使用しています。